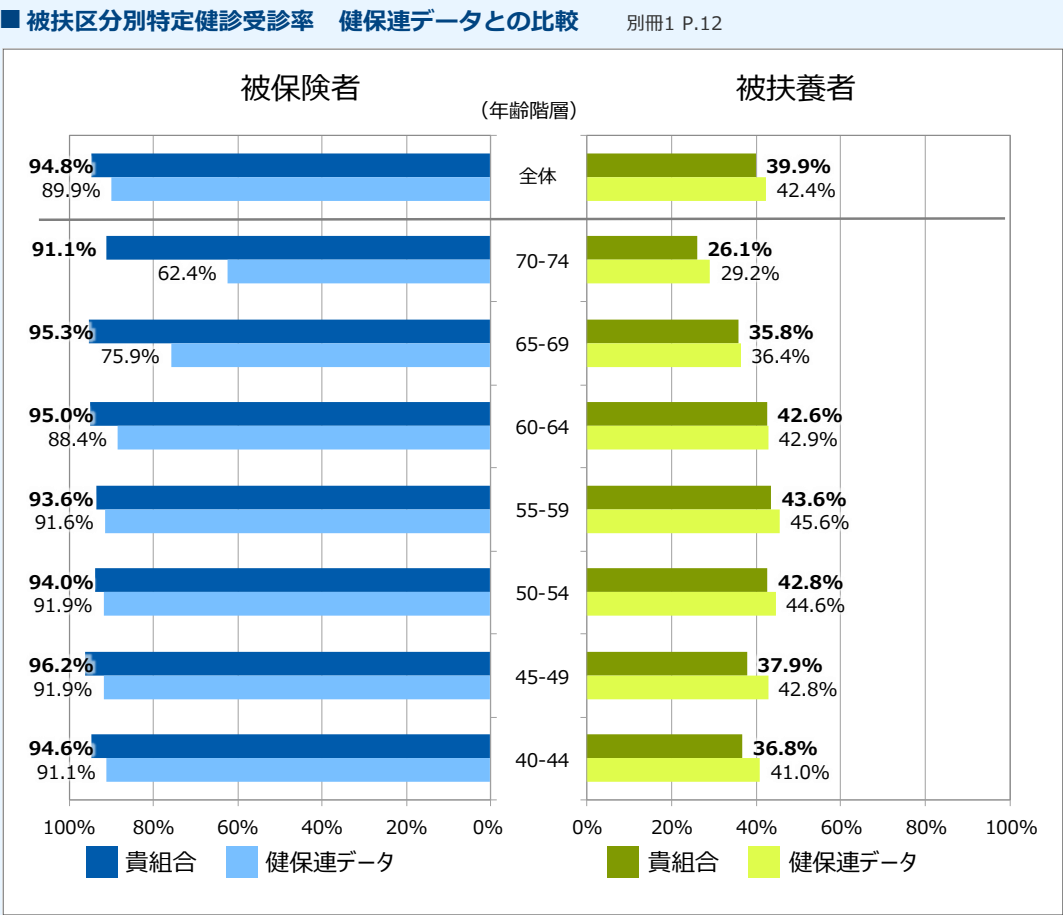


### 3. 健診に関する分析

#### (1) 健診受診状況

- 特定健診受診率については、被保険者では「94.8%」で、健保連データを「4.9ポイント」上回っています。
- 被扶養者では「39.9%」で、健保連データを「2.5ポイント」下回っています。



健診受診状況

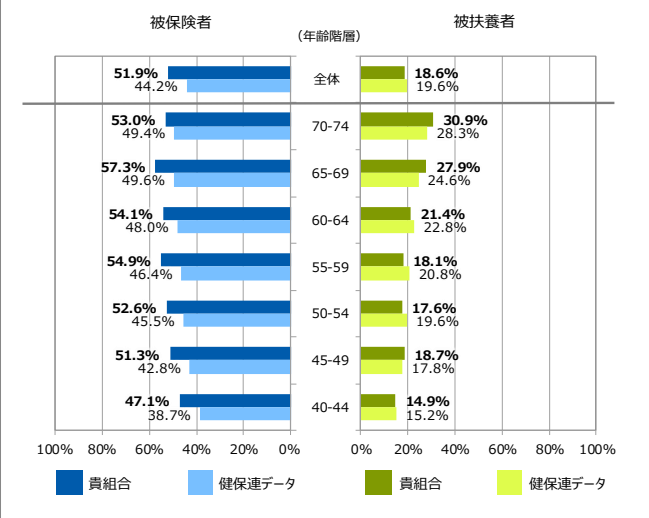
3. 健診に関する分析

(2) 健診検査値の状況（肥満リスク）

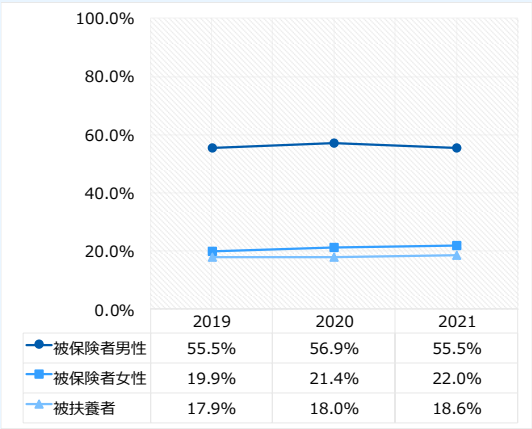
- 肥満リスクの該当者率については、被保険者全体では「51.9%」で、健保連データを「7.7ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「18.6%」で、健保連データを「1.0ポイント」下回っています。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 肥満リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1 P.15



■ 肥満リスクの該当者率 経年比較 別冊1 P.21



|     | 肥満                                               |
|-----|--------------------------------------------------|
| 腹囲  | 男性：腹囲 85以上<br>女性：腹囲 90以上                         |
| BMI | 男性：腹囲 85未満 かつ BMI 25以上<br>女性：腹囲 90未満 かつ BMI 25以上 |

肥満リスク該当者は、上記いずれかのリスク条件の該当者

※上段と中段のグラフについて  
上段の年齢階層データは各リスク項目に使用する複数の健診値のうち、いずれかを保持している方を分母とし、中段の経年データは複数の健診値のうちすべてを保持している方を分母としているため、該当者率が異なる場合があります。

肥満リスク

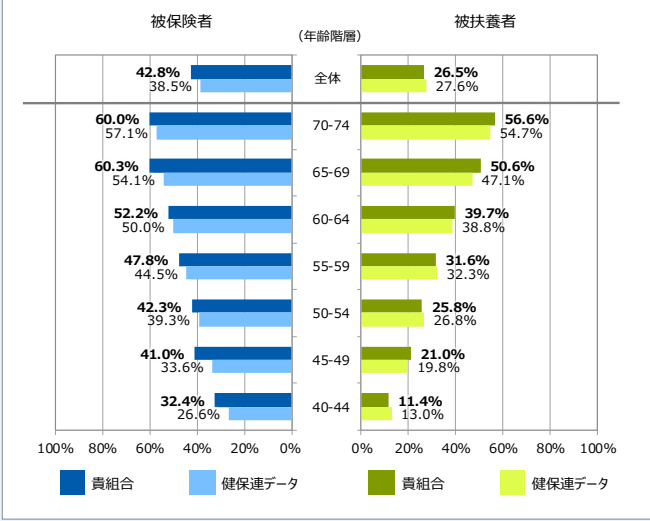
### 3. 健診に関する分析

#### (2) 健診検査値の状況（血圧リスク）

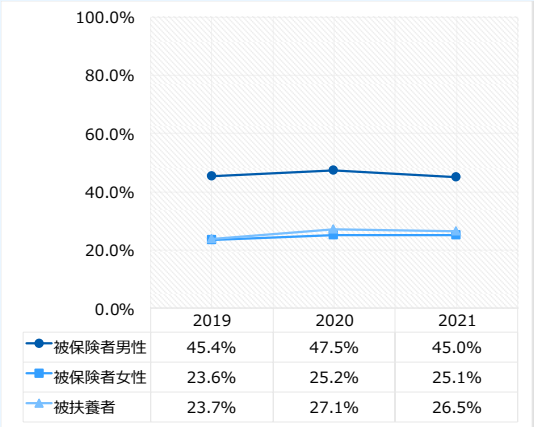
- 血圧リスクの該当者率については、被保険者全体では「42.8%」で、健保連データを「4.3ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。特に「40-44歳」「45-49歳」の年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「26.5%」で、健保連データを「1.1ポイント」下回っています。
- 事業所ごとで比較すると、「日鉄物流名古屋」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 血圧リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1 P.15



■ 血圧リスクの該当者率 経年比較 別冊1 P.21



|       | 正常域   | 保健指導           | 受診勧奨1          | 受診勧奨2 |
|-------|-------|----------------|----------------|-------|
| 収縮期血圧 | 130未満 | 130以上<br>140未満 | 140以上<br>160未満 | 160以上 |
| 拡張期血圧 | 85未満  | 85以上<br>90未満   | 90以上<br>100未満  | 100以上 |

血圧リスク該当者は、保健指導以上の区分該当者  
（収縮期血圧 130以上 または 拡張期血圧 85以上）

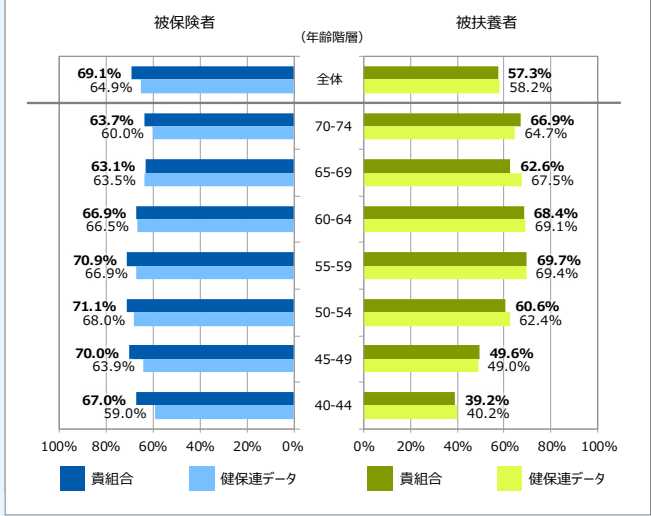
### 3. 健診に関する分析

#### (2) 健診検査値の状況（脂質リスク）

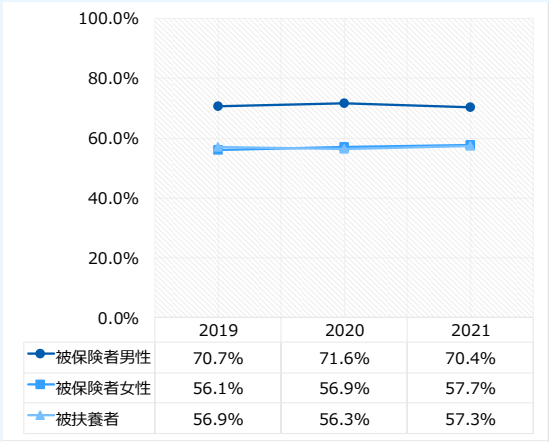
- 脂質リスクの該当者率については、被保険者全体では「69.1%」で、健保連データを「4.2ポイント」上回っています。
- 被扶養者全体では「57.3%」で、健保連データを「0.9ポイント」下回っています。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 脂質リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1 P.15



■ 脂質リスクの該当者率 経年比較 別冊1 P.21



|                | 正常値   | 保健指導           | 受診勧奨1          | 受診勧奨2 |
|----------------|-------|----------------|----------------|-------|
| HDL<br>コレステロール | 40以上  | 40未満           | -              | -     |
| LDL<br>コレステロール | 120未満 | 120以上<br>140未満 | 140以上<br>180未満 | 180以上 |
| 中性脂肪           | 150未満 | 150以上<br>300未満 | 300以上<br>500未満 | 500以上 |

脂質リスク該当者は、保健指導以上の区分該当者  
(HDLコレステロール 40未満 または  
LDLコレステロール 120以上 または 中性脂肪 150以上)

脂質リスク

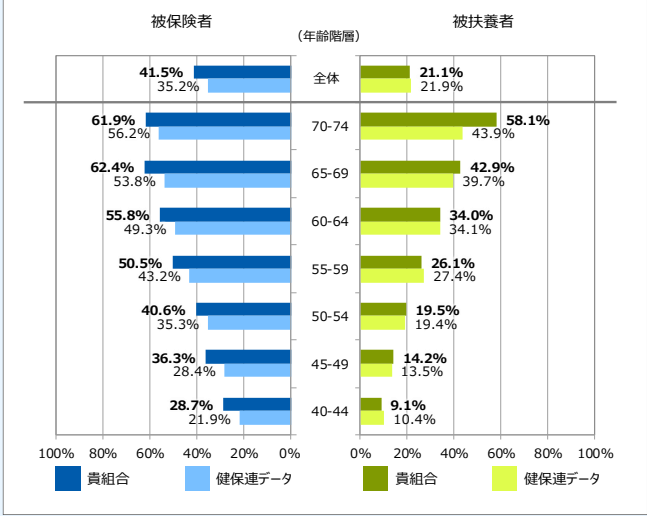
3. 健診に関する分析

(2) 健診検査値の状況（血糖リスク）

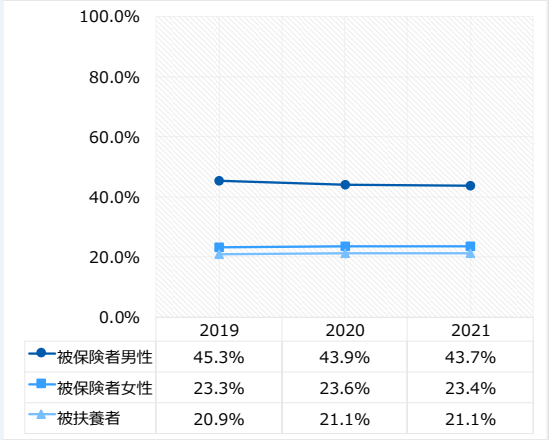
- 血糖リスクの該当者率については、被保険者全体では「41.5%」で、健保連データを「6.3ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「21.1%」で、健保連データを「0.8ポイント」下回っています。
- 事業所ごとで比較すると、「日鉄物流釜石」「日鉄物流鹿島」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 血糖リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1 P.15



■ 血糖リスクの該当者率 経年比較 別冊1 P.21



血糖リスク

|              | 正常域   | 保健指導1          | 保健指導2          | 受診勧奨  |
|--------------|-------|----------------|----------------|-------|
| 空腹時血糖        | 100未満 | 100以上<br>110未満 | 110以上<br>126未満 | 126以上 |
| Hba1c (NGSP) | 5.6未満 | 5.6以上<br>6.0未満 | 6.0以上<br>6.5未満 | 6.5以上 |
| 随時血糖         | 100未満 | 100以上<br>110未満 | 110以上<br>126未満 | 126以上 |

血糖リスク者は保健指導以上の区分該当者

(空腹時血糖 100以上 または  
空腹時血糖のデータがないとき HbA1c 5.6以上 または  
空腹時血糖のデータがない かつ HbA1cのデータがないとき 随時血糖 100以上)

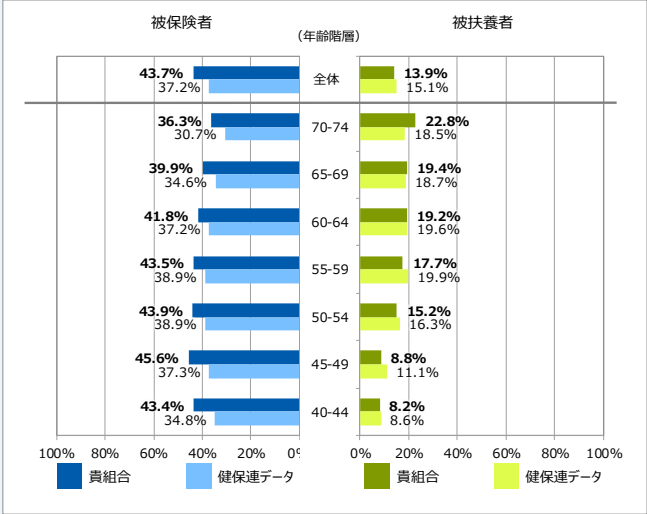
### 3. 健診に関する分析

#### (2) 健診検査値の状況（肝機能リスク）

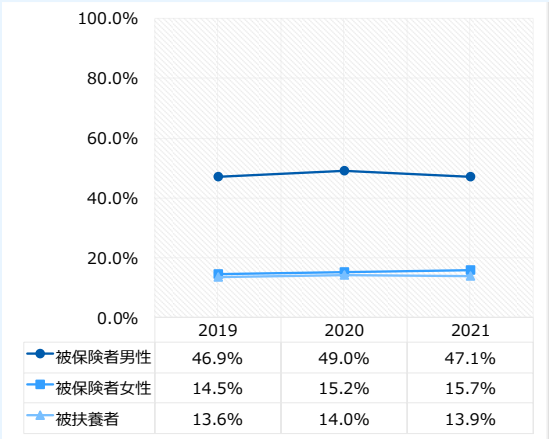
- 肝機能リスクの該当者率については、被保険者全体では「43.7%」で、健保連データを「6.5ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「13.9%」で、健保連データを「1.2ポイント」下回っています。
- 事業所ごとで比較すると、「日鉄物流釜石」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

肝機能リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1 P.15



肝機能リスクの該当者率 経年比較 別冊1 P.21



|              | 正常域  | 保健指導          | 受診勧奨  |
|--------------|------|---------------|-------|
| GOT (AST)    | 31未満 | 31以上<br>51未満  | 51以上  |
| GPT (ALT)    | 31未満 | 31以上<br>51未満  | 51以上  |
| γ-GT (γ-GTP) | 51未満 | 51以上<br>101未満 | 101以上 |

肝機能リスク者は保健指導以上の区分該当者  
(GOT・GPT 31以上 または γ-GT 51以上)

肝機能リスク

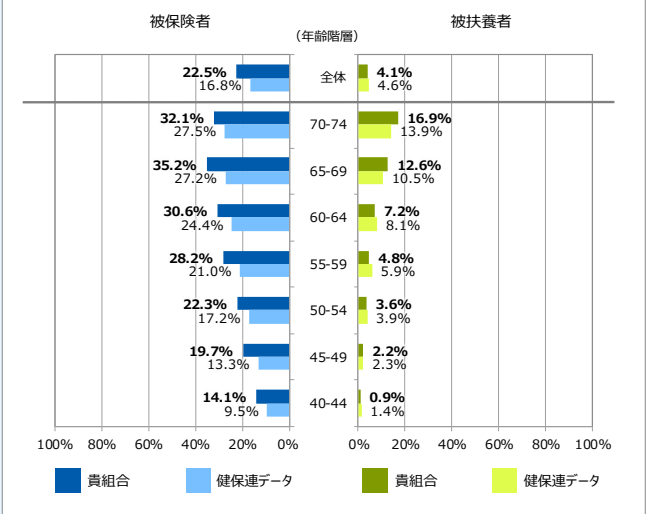
3. 健診に関する分析

(3) メタボリックシンドロームの状況

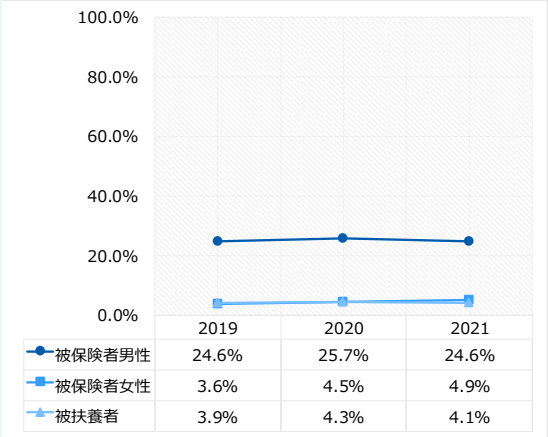
- メタボリックシンドローム該当者率については、被保険者全体では「22.5%」で、健保連データを「5.7ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「4.1%」で、健保連データを「0.5ポイント」下回っており、低い水準と評価できます。特に「55-59歳」「60-64歳」の年齢層で健保連データよりも低い水準です。
- 直近三カ年では、被保険者女性が増加傾向です。
- 事業所ごとで比較すると、「日鉄物流大分」「日鉄物流鹿島」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ メタボリックシンドローム該当者率 健保連データとの比較 別冊1 P.16



■ メタボリックシンドローム該当者率 経年比較 別冊1 P.21



| リスク項目                  | リスク判定基準              |
|------------------------|----------------------|
| 腹囲                     | 男性：腹囲≧85cm           |
|                        | 女性：腹囲≧90cm           |
| 血圧<br>①②③のいずれかに当てはまる場合 | ①収縮期血圧：≧130mmHg      |
|                        | ②拡張期血圧：≧85mmHg       |
|                        | ③薬剤治療を受けている（問診より）    |
| 脂質<br>①②③のいずれかに当てはまる場合 | ①中性脂肪：≧150mg/dL      |
|                        | ②HDLコレステロール：<40mg/dL |
|                        | ③薬剤治療を受けている（問診より）    |
| 血糖<br>①②③のいずれかに当てはまる場合 | ①空腹時血糖：≧110mg/dL     |
|                        | ②HbA1c：≧6.0%         |
|                        | ③薬剤治療を受けている（問診より）    |

メタボリックシンドローム該当者は  
上記リスク項目の「腹囲」に該当し、かつ  
「血圧」「脂質」「血糖」のうち2つ以上のリスクに当てはまる者

メタボリックシンドローム該当者

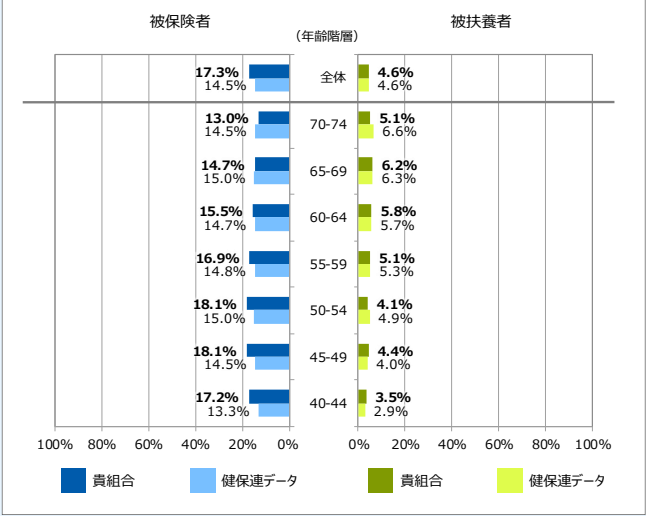
### 3. 健診に関する分析

#### (3) メタボリックシンドロームの状況

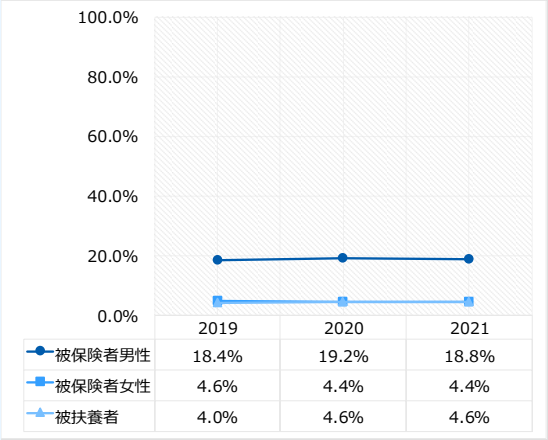
- メタボリックシンドローム予備群者率については、被保険者全体では「17.3%」で、健保連データを「2.8ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。特に「40-44歳」「45-49歳」「50-54歳」「55-59歳」の年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「4.6%」で、健保連データと同値です。
- 事業所ごとで比較すると、「日鉄物流名古屋」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ メタボリックシンドローム予備群率 健保連データとの比較 別冊1 P.16



■ メタボリックシンドローム予備群率 経年比較 別冊1 P.22



| リスク項目                  | リスク判定基準              |
|------------------------|----------------------|
| 腹囲                     | 男性：腹囲≧85cm           |
|                        | 女性：腹囲≧90cm           |
| 血圧<br>①②③のいずれかに当てはまる場合 | ①収縮期血圧：≧130mmHg      |
|                        | ②拡張期血圧：≧85mmHg       |
|                        | ③薬剤治療を受けている（問診より）    |
| 脂質<br>①②③のいずれかに当てはまる場合 | ①中性脂肪：≧150mg/dL      |
|                        | ②HDLコレステロール：<40mg/dL |
|                        | ③薬剤治療を受けている（問診より）    |
| 血糖<br>①②③のいずれかに当てはまる場合 | ①空腹時血糖：≧110mg/dL     |
|                        | ②HbA1c：≧6.0%         |
|                        | ③薬剤治療を受けている（問診より）    |

メタボリックシンドローム予備群該当者は  
上記リスク項目の「腹囲」に該当し、かつ  
「血圧」「脂質」「血糖」のうち1つのリスクに当てはまる者

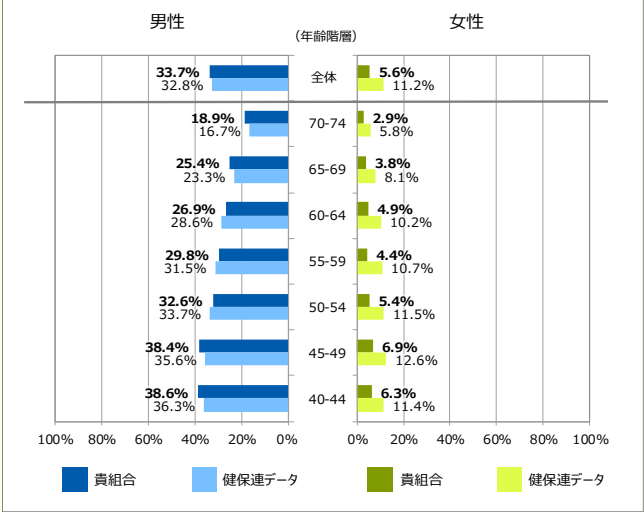
### 3. 健診に関する分析

#### (4) 問診回答の状況（喫煙リスク）

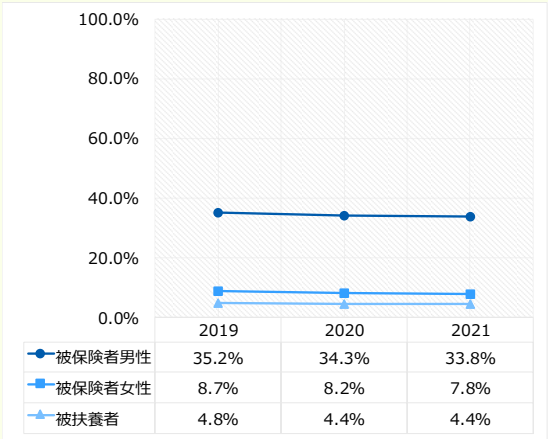
- 喫煙リスクの該当者率については、男性では「33.7%」で、健保連データを「0.9ポイント」上回っています。
- 女性では「5.6%」で、健保連データを「5.6ポイント」下回っており、低い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも低い水準です。
- 事業所ごとで比較すると、「日鉄物流釜石」「日鉄物流大分」「日鉄物流鹿島」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 喫煙リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1 P.20



■ 喫煙リスクの該当者率 経年比較 別冊1 P.23



現在、たばこを習慣的に吸っている（はい）

5. 医療費に関する分析

(1) 医療費総額・1人当たり医療費

- 2021年度の医療費総額は「2,512,476万円」です。
- 金額階層別医療費は、年間100万円以上の医療費を使っている人の割合は全体の「1.7%」で、金額ベースでは「38.0%」です。一方、年間10万円未満の人の割合は全体の「73.0%」で、金額ベースでは「16.0%」です。
- 1人当たり年間医療費は「152,369円」で、前年度より増加しています。
- 疾病区分別の医療費総額は、「生活習慣病」と「新生物」が上位を占めます。

■ 医療費総額 別冊1 P.30

|       |        | 2021年度      | 2020年度      |
|-------|--------|-------------|-------------|
| 医療費総額 | レセプト金額 | 2,512,476万円 | 2,352,559万円 |
|       | 件数     | 1,778,535件  | 1,668,056件  |
|       | 診療実日数  | 2,466,531日  | 2,339,020日  |

■ 金額階層別医療費 別冊1 P.31

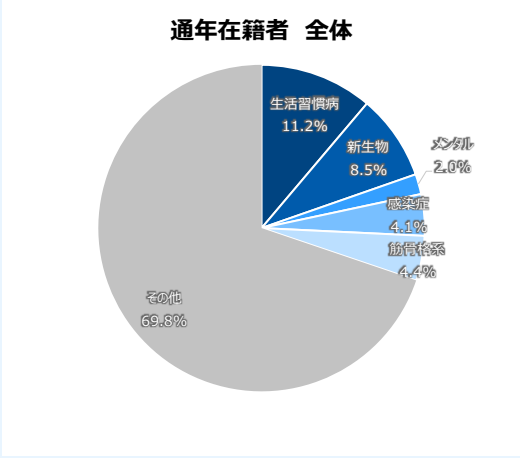
|      |           | 2021年度      |       |    |       | 2020年度      |       |    |       |
|------|-----------|-------------|-------|----|-------|-------------|-------|----|-------|
|      |           | 医療費総額における割合 |       |    |       | 医療費総額における割合 |       |    |       |
| 金額階層 | 100万円以上/年 | 金額          | 38.0% | 人数 | 1.7%  | 金額          | 39.3% | 人数 | 1.6%  |
|      | 10万円未満/年  | 金額          | 16.0% | 人数 | 73.0% | 金額          | 16.8% | 人数 | 76.7% |

■ 1人当たり医療費 健保連データとの比較 別冊1 P.32

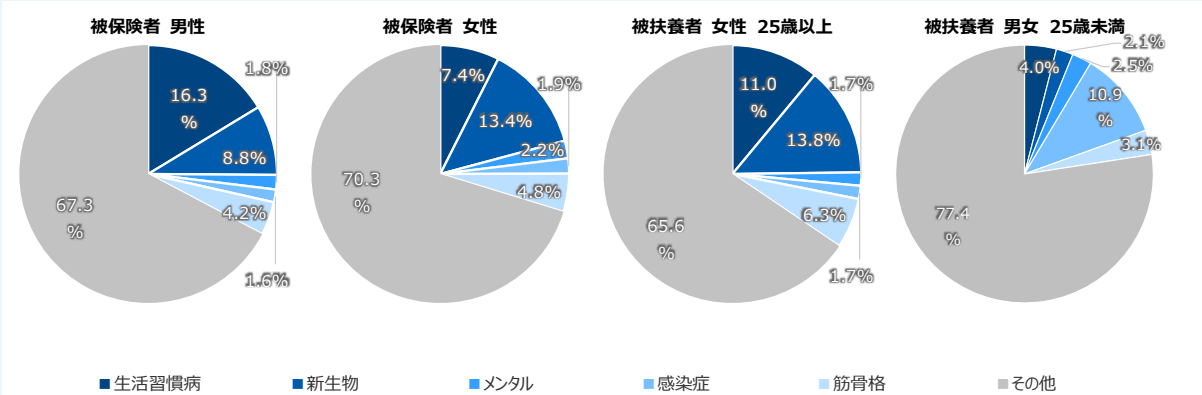
|                   |       | 2021年度   | 2020年度   | 2021年度健保連データ |
|-------------------|-------|----------|----------|--------------|
|                   |       | 貴健保      | 貴健保      |              |
| 1人（日、件）<br>当たり医療費 | 医療費/人 | 152,369円 | 138,655円 | 145,036円     |
|                   | 件数/人  | 10.8件    | 9.8件     | 10.2件        |
|                   | 日数/件  | 1.4日     | 1.4日     | 1.4日         |
|                   | 医療費/日 | 10,186円  | 10,058円  | 10,237円      |

■ 疾病区分（※）別医療費の割合 別冊1 P.39

※本資料 P.4 分析の前提条件 ■レセプトの分析方法 4.を参照



■ 疾病区分（※）別医療費の割合 資格カテゴリごと 別冊1 P.39



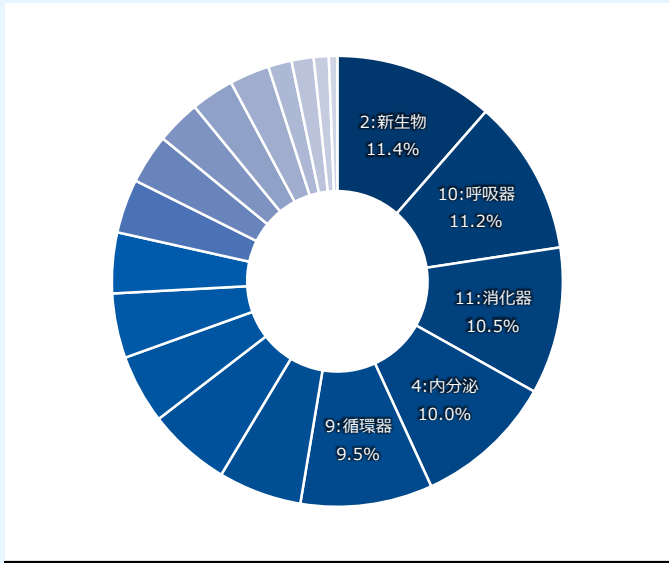
## 5. 医療費に関する分析

### (2) 疾病大分類別医療費と疾病区分別医療費

- 疾病大分類別の医療費総額は、「2:新生物」「10:呼吸器」「11:消化器」の順に高く、3分類合計で全体の「33.1%」を占めています。
- 疾病区分別の1人当たり年間医療費は、被保険者では「生活習慣病」「新生物」「筋骨格」、被扶養者では「新生物」「生活習慣病」「感染症」が上位を占めます。

疾病大分類別医療費と疾病区分別医療費

■ 疾病大分類別医療費の割合 別冊1 P.35



| 分類区分   | レセプト金額    | 構成比   |
|--------|-----------|-------|
| 2:新生物  | 213,154万円 | 11.4% |
| 10:呼吸器 | 207,875万円 | 11.2% |
| 11:消化器 | 196,334万円 | 10.5% |
| 4:内分泌  | 187,172万円 | 10.0% |
| 9:循環器  | 176,419万円 | 9.5%  |

■ 1人当たり年間医療費 疾病区分（※）別 別冊1 P.39

| 資格カテゴリ | 人数      | 生活習慣病   | 新生物     | メンタル   | 感染症    | 筋骨格    |
|--------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 被保険者   | 81,978人 | 22,815円 | 14,196円 | 2,818円 | 2,473円 | 6,449円 |

| 資格カテゴリ | 人数      | 生活習慣病   | 新生物     | メンタル   | 感染症     | 筋骨格    |
|--------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 被扶養者   | 82,916人 | 11,314円 | 11,672円 | 3,245円 | 10,008円 | 7,063円 |

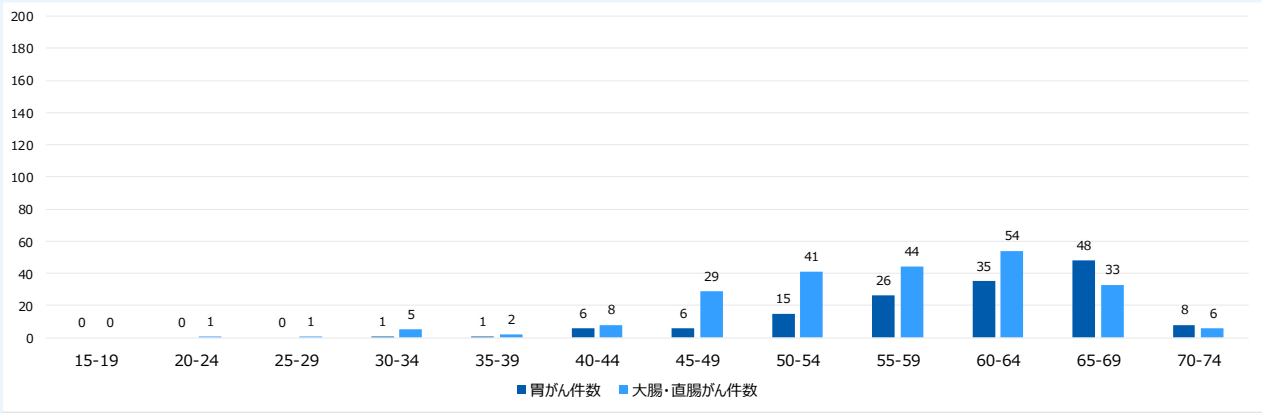
※本資料 P.4 分析の前提条件 ■レセプトの分析方法 3.4.を参照

## 8. がんの受療人数・医療費合計

- 男性では「20-24歳」以降からがんの罹患者が発生しています。
- 女性では「20-24歳」以降からがんの罹患者が発生しています。特に「乳がん」は罹患者が多くなっています。

※20歳未満、65-69歳、70-74歳については記述していません。

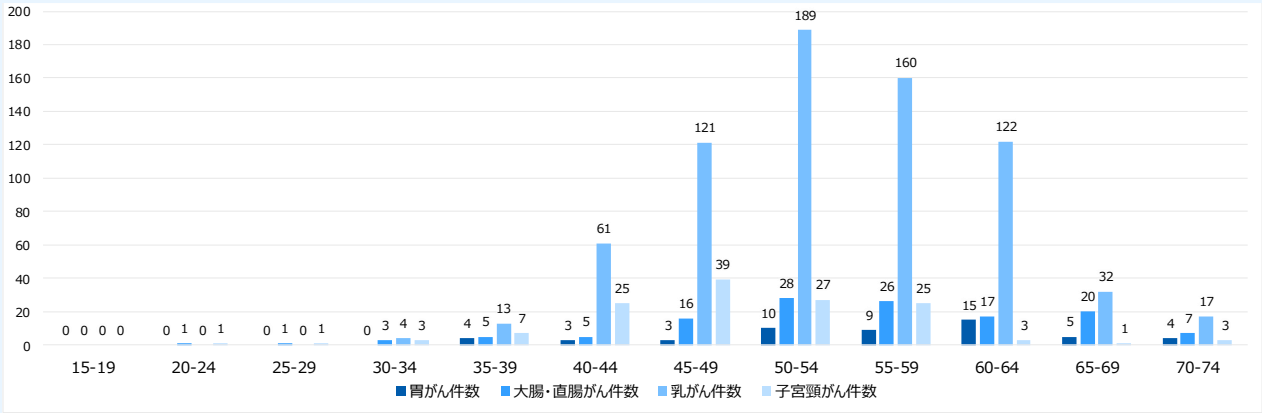
■ がん罹患数【男性】 年代ごと（集計対象：被保険者＋被扶養者） 別冊1 P.80



| 種別      | 医療費合計        | 件数  |
|---------|--------------|-----|
| 胃がん     | ¥46,347,869  | 146 |
| 大腸・直腸がん | ¥103,827,136 | 224 |

※疑い病名除く

■ がん罹患数【女性】 年代ごと（集計対象：被保険者＋被扶養者） 別冊1 P.80



| 種別      | 医療費合計        | 件数  |
|---------|--------------|-----|
| 胃がん     | ¥14,665,247  | 53  |
| 大腸・直腸がん | ¥50,707,066  | 129 |
| 乳がん     | ¥225,070,388 | 719 |
| 子宮頸がん   | ¥11,458,249  | 135 |

※疑い病名除く

がん